

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報		事業番号	0145/000000/00/01	事業の種類	4
年度	19	事務事業名	ひとり暮らし老人名簿事業	作成日	平成21年1月20日
重要度	5	予算事業名		担当部課名	健康福祉課
政策名	すこやかに暮らせる、心かようまちづくり				
施策名	高齢者福祉	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規	老人福祉法				
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市・民生委員			
	誰(何)を対象として	65歳以上の一人暮らし高齢者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	実態調査により65歳以上の一人暮らし高齢者名簿を作成する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		民生委員の協力の下、年2回定期的に現地調査を行い、対象者名等のほか緊急時の連絡先(主に親族)を聴き取り調査し、名簿を作成する。				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	ひとり暮らし老人数(2回目調査時)	人	1,180	1,260	1,284	1,300

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.053	0.053	100.0	0.060	113.2	0.060	100.0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,429,036	1,169,328	81.8	1,261,645	107.9	1,214,292	96.2	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,429,036	1,169,328	81.8	1,261,645	107.9	1,214,292	96.2	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,429,036	1,169,328	81.8	1,261,645	107.9	1,214,292	96.2	
合計	1,429,036	1,169,328	81.8	1,261,645	107.9	1,214,292	96.2		

4 評価指標

【有効性】

指標名1	ひとり暮らし老人数(2回目調査時)の増減								
指標説明(式)	ひとり暮らし老人数(2回目調査時)の増減								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
人	目標			-		-	1,300	#####	
	実績	1,180	1,260	106.8	1,284	101.9			

【効率性】

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1	名簿一人当りの仕事量
------	------------

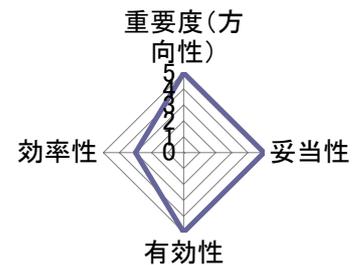
指標説明(式)		人件費／一人暮らし老人数(2回目調査時)							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	1,211	928	76.6	983	105.9	934	95.0	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	安否確認や在宅の高齢者福祉施策の基礎となる名簿であるから、実地調査による定期的な更新は必要。	4	5
	市民ニーズ	実地調査による対象者の的確な把握は、公平な行政の観点から市民のニーズは高い。		
有効性	成果目標(改善)達成度	民生委員の実地調査により、名簿の正確性は高く、名簿作成の事業目的に対し達成度は高い。	4	5
	市民サービス	安否確認や在宅の高齢者福祉施策を通し、市民サービスの向上に役立っている。		
効率性	コストの節減	名簿の更新依頼や調査結果等の文書を郵送等に頼らず、直接、市と民生委員との間で手渡しによって行なっているため、コストの節減は、従来どおり行なっている。	4	3
	手段の最適性	地域を知る民生委員の調査によって作成している為、名簿の正確性は高く、前段のとおりコストも低く、最適の手段である。		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	個人情報の保護の観点より、調査が困難なケースもある。安否確認や高齢者福祉の効果を高めるべく更なる有効活用を検討する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
H19→H20予算反映額		

(2) 20年度の実施方針

災害時にも有効なリストであり、継続実施

検討の有無	-
総合指標	25.5